

令和6年度 第2回湖南省立図書館図書館協議会 会議録

- 開催日時 令和6年11月6日（水） 午後7時00分～8時30分
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員10人
事務局5人
- 傍聴人 1人

1. 開 会

[会長あいさつ]

[委員紹介]

2. 報 告

- 1) 令和6年度 湖南省立図書館事業実績報告 上半期 について
- 2) 甲西図書館居室のリニューアルについて
- 3) 市制施行20周年記念イベントの開催報告について
- 4) 図書館関連計画の改定スケジュールについて

議長	それでは報告事項の1番目。令和6年度湖南省立図書館事業実績報告上半期について、事務局からよろしくお願いします。
事務局	（資料1に基づき、令和6年度上半期湖南省立図書館事業実績について説明。）
議長	ありがとうございました。 ご意見ご質問等ございますか。 甲西図書館と石部図書館の開館日数差はなぜ9日間あるのですか。
事務局	甲西図書館は蔵書点検期間を設けていて、図書館を閉館して、蔵書が本当にあるかどうか台帳と照らし合わせるという作業をしています。 甲西図書館は6月に行いましたが、石部図書館は2月を予定しているので、甲西図書館と石部図書館の開館日数の差異になっています。
議長	蔵書管理はバーコード管理をしていますか。
事務局	バーコードをPOT（ポータブルターミナル）という小さな端末で読み取ります。 何万冊もあるものを1冊1冊読み込んで、データと照らし合わせるという作業をしているので、かなり時間がかかります。
議長	差異はどれぐらいありますか。
事務局	確認します。
議長	例えば2、3冊の差異なら、利用者を性善説で捉えて、蔵書点検の閉

	館日を減らして開館日を増やす方が良いと思います。 ただ 100 冊、200 冊の差異があるのなら、蔵書の損失になるので、原因を調べる必要があると思います。
事務局	基本的には、いわゆる棚卸しなので所定の場所に蔵書があるかどうかを全て見ていますが、それ以外に、本棚の配置の変更等をしたり、多目的会議室のリニューアルの準備をしたり、色々を行っています。
議長	図書館の職員さんだけで行っていますか。 誰かボランティアさんが手伝ってくれていますか。
事務局	サポーター制度というのもあって、お手伝いしていただいている市民の方もいらっしゃいます。
事務局	先ほどの冊数の件ですが、蔵書点検の直後は 94 冊見つからない本がありました。 その後、返却時に判明したり、貸出時にミスがあったなどの理由で冊数変動するので、現時点の数値は持っておりません。
議長	30 万冊の中の 100 冊の差異というのは非常に精度が高いと思いますが、不明になる原因を調べておかないといけないと思いますので、いい意味での効率アップを図っていただきたいです。 他に意見はありますか。
委員	今日 1 階で、小学校中学校の皆さんの本の帯のコンクールを見せていただきましたが、中学校や高校の本は、一般書に入るものが多いですね。 児童書は児童、だから中高生っていう感じじゃない。
事務局	貸出冊数について、児童書と一般書となっているのは、本のジャンルが児童書と一般書に分かれていて、それぞれの貸し出しの冊数が表記されています。 例えば、大人の方が子どもさんの絵本を借りた場合は児童書の貸し出しになるし、中学生の方が一般向けの本を借りた場合は一般書の貸し出しとなります。 貸出人数については年齢で区切っていて、児童というのは 12 歳までの方の貸出が児童の貸出、それより上が一般の貸し出しとなっております。
委員	1 階の本の帯のコンクールを見ると、一般書を借りている子どもたちが多くように思えますが、その割に一般書の貸し出しが少ない印象があります。 ここが課題かなと思いました。
事務局	図書館の内部資料としては、各年代の貸出冊数を統計として取ってい

	るので、必要があれば、資料に加えることも可能かと思います。
委員	今の中学・高校生はライトノベルを読む子がとても多らしく、福知山の図書館で、その中学・高校生が電子書籍でライトノベルを借りる冊数が非常に伸びているそうです。 そうした入り口でもいいと思うので、図書館と関わる要因の1つになればいいなと思いました。
議長	電子図書の話が出ましたが、資料1の裏で4月～9月の電子図書の貸出冊数が379件。 費用をかけている割には費用対効果が低い。図書館の総貸出冊数から0.何%しかないので、そうした切り口から入ってもらっているのであれば、もう少し頑張ってもらいたい。 電子図書を本として扱うのかは難しい問題ですが、379件はあまりにも少なく、参考データも取れない。 電子図書の貸出が増えてくると、その分図書館をコンパクトにできて空間が空いてくるのですが、電子図書の貸出がこれだけ少ないと、今の図書館の広さを保っていかないといけなことになります。ライトノベル本の貸出がすごく多いというような切り口で図書館に集まってもらっても宣伝効果になるかと思うので、皆様の知恵をお願いしたいです。
事務局	蔵書の冊数は約30万冊ですけど電子図書のコンテンツ数は2600冊なので分母が非常に少ないところです。 新規に登録される方にご案内させていただいて、使ってみたいという方もいらっしゃるのではPRをしていかなければと思っているところです。ただ、一般的に商用ベースの電子書籍では最新刊もあり価格も少し安いことがあると思いますが、図書館の電子図書の価格は紙の本の3倍ぐらいなので、なかなか難しい部分があります。 ただ、工夫されている図書館の事例を伺うと、児童書やヤングアダルトの電子書籍に力を入れている図書館もあるということも聞いています。 非来館型のサービスとして進める価値はあると考えております。
議長	また皆様の時間があれば議論していきたいと思います。 電子図書の金額が通常の3倍するというのは確かに勿体ないという部分もある。
委員	公立図書館は電子図書を積極的に取り入れていくのが今の時代の流れなのではないでしょうか。 電子書籍の値段が高いということなら、色々な人たちが借りられるよ

	うに揃えていくという意味では、普通の書籍を購入していく方がありがたいと思ったりもします。全体的な流れとしては、日本という国の公立図書館の考え方はこれから電子書籍をどんどん増やそうということなのではないでしょうか。
事務局	電子図書館については県内の図書館で委員会を立ち上げているが、商用ベースに乗っかるのではなく、紙媒体ではボロボロになってしまっ て替えのきかない地域資料といった貴重性のあるものをデジタル化 するということに重点を置いた方が良いのではという議論もあり ます。 大学図書館では研究書を主として導入しており、県内の図書館では導 入館は少ないものの、非来館型、督促が必要ないといったメリットが あるので、これから議論が進んでいくのではないかと思います。
議長	皆様も色々な人に聞いたり勉強していただいて、この協議会で議論し ていただけたらと思います。 高い値段で買うなら普通の本を揃えたらほうが良いというのも確か にそうですし、ただ古文書あたりは電子化しないと見られなくなるの で、そうした意味では大切なのかと思います。 普通の本については商用ベースの電子書籍が進出してきて、オーディ ブルとか始めるとそればかりになってしまう。 そうしたサービスに勝つという話ではない。 また皆様と議論したり、専門家の方にお聞きして、方向性を図書館協 議会で議論すべきかなと思いますので、よろしくお願いします。 他ございませんでしょうか。
委員	先ほど本の在庫数聞きましたが、概算で 30 万冊なんですね。
事務局	甲西の図書館が 25 万冊、移動図書館が 3 万冊、石部図書館が 10 万冊 です。
議長	眠っている本もたくさんありますが、出しきれていないです。 その活用方法を考えていけないといけない。リサイクルということ で、皆様にもらっていただいたりしていますが。 最悪は捨てるしかありませんが、それまでにもう一度その本が何か生 き返る方法、例えば、漫画やアニメ系は、ぜひ海外の子どもたちに送 ってあげて欲しいです。ただ送料が高くなりますが。 何かいい意味での活用方法がありましたら、皆様のお考えをいただ ければと思っています。 滋賀県の図書館の中でも、38 万冊は指折りだと思っています。そう した意味でも活用方法を私たちが考えるべきと思っていますので、よ

	ろしくお願いします。 2つ目の甲西図書館居室リニューアルについて、よろしくお願いします。
事務局	(資料2に基づき、甲西図書館居室リニューアルについて説明。)
議長	うまく部屋を活用して子どもたちが集まるという部分で作っていただいたのは非常に進歩してるのかなと思いますし、また壁紙も前回の協議会で話が出て、早速予算を取っていただいたので非常にありがたいです。ついでに机だけ会議机のようなものなので、壁紙と一体になるようなものにしてほしいです。 子どもたちに喜んでもらえるという部分については、最近はSNSで広がっていく部分もありますし、逆に悪いイメージが広がると来てくれなくなっても困りますので、色々と工夫を凝らしていただければと思います。
事務局	リニューアルについて、資料の内容についてはこの9月の補正予算が通り実施させていただくことになります。 他にもリニューアルすべきところは沢山あると思いますし、来年度予算の編成時期なので、こうしたいということをしていただければ、予算に盛り込んでいきたいと思っております。
議長	ここでお話しすべきなのかどうか分かりませんが、新庁舎の話がこの前も出ていて、結局リニューアルするよりは建て替えた方がコストがかからないという結果でしたが、4年前は逆で、リニューアルして使っていった方がいいということでした。この4年間の間で色々な調査をしたら、新しく新庁舎を建てた方が色々な意味で良いという結論になって、誰もがもう反対できないのかなと思っています。ただ一番最初に庁舎の計画が出た時には、1階に図書館を作るという事を前の市長から聞いていて、私も楽しみにしていましたので、他の新しい図書館を見に行ったりしてましたが、それは今の図書館が建っている土地の問題等が理由で、市庁舎の中に図書館を入れて利便性を高めたほうが良いということでした。庁舎を建て直さないという方向になり、図書館の土地の問題も決着がついてリニューアルということになりました。でも新庁舎になるなら、せっかくの機会なので、ぜひ個人的にも新庁舎に図書館をいれてほしい。 図書館協議会としては言うだけは言いたい。一度新しい庁舎建ったら、図書館がそこに入ることは何十年先無いです。 他の新しい図書館を見せていただくと守山市立図書館もそうですが、天井の高さといったところが、根本的に違う。もう1回この機会

	に、新庁舎に入れていただきたいと希望してよいでしょうか。 壁紙ぐらいなら庁舎が建つまで1～2年にかかるので償却できますが、リニューアルにお金をどんどん入れていった挙句、やはり市庁舎に入るといふ方向になると無駄使いという話になってくる。 また、皆様で考えていただいて、議論の時間を設けましょう。 単に本を見るだけの場所ではなくて皆さんが集っていただく場所づくりという点で考えると、庁舎の中にある方が利便性も高まるのかなと思っています。 皆さんに投げかけということで、考えてまた議論していただければという風に思います。 ただ今リニューアルとして進めていただいていることは非常に前向きでいいことなので、これはこれで進めていただければと思います。
委員	中途半端な意見になりますが、会長は新市庁舎に入れることを希望されているが、それがどれぐらいの規模で、どのような図書館かも、わからないから投げかけられたということですよ。 本当に今の図書館よりも必ずしもいいのかどうか、例えば蔵書はどれくらいになるか。今のシステムによる本来の図書館から、場所づくりに移行するのも、図書館のイメージと違う気がするし、バランスがどのように考えたらいいのかというのは大きな問題。 確かに従来の図書館のように、本の好きな人だけが行くというのは、これから先違って来るだろうというのは色々な図書館を見て分かります。だからといって、ツタヤが入ってきて、コーヒー飲みながらというのも良いのかもしれません、本来は本を探しに行つてそこで何かに出会うというイメージもあってほしいと思います。 こうした質問をするのもどうかと思いましたが、リニューアルの方向かと思っていれば、大きな話が飛び込んできたので、戸惑っています。
議長	新庁舎に入れるという事を必ずしたいわけではなく、ただそうした機会があれば、議論して検討したいということです。新庁舎が完成してから、図書館も入れるという要求をしても無理な話なので。 ただ新市長は図書館のリニューアルを公約に挙げているので、早めに言おうと思っていました。議論して、現在の図書館を使って進めていきたいと思いますということであれば、それで構わないと思います。先に色々なご意見を聞いた流れの中で、進めていければいいかなと思っていますので、焦る必要はないので、皆様の頭の片隅に置いていただければと思います。この場所を上手く活用していく方法もありますし。 皆さまが集う利便性の高いものにするのか、図書館として独立して進

	めていくのかというのは各々のご意見もあるのかなと思いますので、皆様方に考えていただければと思います。 ただ、リニューアル自体は進んでいて、壁紙もここまで進めているので、それをやめますということにもならないので、進めていただいたらいいかと思いますので、よろしくお願いします。
事務局	庁舎計画の大まかなスケジュールですが、現在、基本計画の策定中です。 それを2ヵ年、令和5年と6年度でまとめ上げて、現在、基本計画が、12月議会で説明がされて、年明け頃にパブリックコメントを行い、市民の皆さんのご意見を伺う機会があります。その基本計画ができた後に、来年度以降に基本計画、基本設計と実施設計という段階を踏んで、建物の形ができてきます。今は基本計画という、大まかなイメージ、どのような建物がどのように集約されていくのかという大まかな部分の計画を策定中です。 その段階で市民の皆様のご意見をお伺いするというタイミングですね。
議長	まだ実質的には庁舎建設は5年先ぐらいの話ですよ。
事務局	そうです。 基本設計があつて実施設計があつてそれから着手ということになるので、そのスケジュールで進めると、まだ3、4年先に着手するようなスケジュールです。
議長	今の新庁舎を解体して新庁舎を作るという計画は基本ですか。
事務局	それについても基本計画の中にその案と異なる案がいくつか示されて、それに対してご意見をお伺いすることになります。
議長	耐震もありますからね。 河川の氾濫があったら、ここも2m浸水してしまいますよね。
事務局	そうですね。
事務局	タウンミーティングでも説明がされた内容ですが、皆様にもう一度パブリックコメントという形で基本計画として1度案を示させていただいて、ご意見をお伺いする期間が年度内というスケジュールです。
議長	ここは土地が低いので浸水して本が水に浸かると終わりになってしまうので、それなら新しい庁舎に入れてもらう方が心配がないですよ。 ウォーターハザードを見ていると、この周辺は中央でも一番土地が低くて浸水する可能性が非常に高いという場所ですよ。 土地を高くしてもらうのか、庁舎に行くのがいいのか、総合的に判断

	しないといけないので、そうした質問をどんどん投げかけて、議論していくべきかと思っているので、そうした機会を皆様とともに利用したいと思います。
委員	新庁舎の場所は現在の場所ですか。
事務局	その件についても基本計画の案の中に、消防署のある高台にという案と今の場所でのリニューアルという案があります。ただ、いずれにせよ止水対策は必要だということで、対策を講じる案も示されています。 どの案がいいのかということを皆様にご意見をお伺いして決まっていくと思います。
議長	何かがあった時に浸水することは間違いないですし、その場所に建てるということは、想定外の大雨が今頻繁に起こっている流れの中では、対策本部になる場所が浸水してしまう。
事務局	総合的な判断の上で、どこに建築するのか、どのように集約するのか、を決めていきます。旧国道 1 号線沿いが一番土地が高いですし、現市庁舎の位置と高低差がありますので、そちらに持っていくという方向性がありますが、消防署の移転の必要性もあります。
議長	移転のスペースは決まったのですか。
事務局	まだ決定ではないですね。
議長	この議論の中に出てきますが、図書館をリニューアルしても土地を高く上げることはもう難しい。
事務局	土地の話は解決というか、市の方で購入しているので。
委員	この図書館がほかの場所に移ったら、この土地はどのようになるのか。それぐらい先のことを考えて進めないといけない。
議長	総合的に考えていくという、そういう議論の場を作った方がいいのではないかなと思いますので皆様のご意見色々聞かせていただくことが前向きかなと思いますので、よろしくお願いします。 それでは 3 番目、市政施行 20 周年記念イベントの開催報告についてよろしくお願いします。
事務局	（資料 3 に基づき、市政施行 20 周年記念イベントの開催報告について説明。）
議長	20 周年という大きな節目のイベントなので、大々的にやっていただいたと思っています。 当日天気もよかったので、たくさんの人に来ていただいて、私も見に行かせていただきました。

	一流ブランドなので皆様もよく御存知で、これから常設してはどうかと話し合ったのですが、残念ながら費用がものすごくかかるという事でした。 何かをすれば来ていただけるという実績になったと思っていますので、予算の関係で何度もできないとは思いますが、本につなげられる方法というところをお願いしたいと思います。
委員	ちっちゃなかぜおはなしかいもさせていただき、ありがとうございました。 通常第3土曜日なのをこの日に変えておはなしかいをさせてもらいましたが、いつも3～4人の参加ですが、10月6日は沢山参加されました。 加えて若いお母さんお父さんが、私もここで聞いたことがありますとか、学校や幼稚園で聞いたことがあって懐かしいという方も、来てくださいました。 森北公園と近いという地の利を上手く使って、森北公園にキッチンカーが沢山来て、おもちゃがあるイベントということで、図書館にあまり興味の無かった若いご家族が来られて、また本を借りたり、この場所がこれほど充実しているのかと思ったりしてくださるかもしれません。 そう考えると、次は30周年のタイミングではなく、1年の中で秋の図書館フェアや春のイベントといった何らかの形でコラボして、この場所を上手く使ったら良いと思います。 おはなしかいで読んだ本を借りれるように置いておくと、借りて行かれる方が沢山おられたので、大変いい機会になったと思いました。
議長	本だけでなく、外でキッチンカーなど、楽しみが幾つもあるというように、本だけで進めるというよりは周りも含めて地の利を生かして進めて頂ければと思います。
委員	このイベントではありませんが、8月の末に本の読み聞かせや紙芝居を私のキーボード演奏とマジックショーを入れて1時間の催しをしました。音楽コンサートの中に絵本や紙芝居を入れると本を嫌いな子でも面白いんじゃないかなと。それを定期的にしていきたい。本や紙芝居は20分ぐらいで、マジックをする知人に入っていたいたのですが、それも好評で、皆が食い入るように見てくださいました。今までは2年ほどやらせていただきました。小さい方しか来られないのが残念で高学年の方も来ていただきたいなあという気持ちにはなりました。

	子どもさんが本を手にする機会がとても大切だと思うので、社協さんが作られた赤い羽根のしおりを参考にして図書館のしおりを作りました。（見本を見せて）こういうのを、子どもさんに渡して、定期的にこんな本を読んだと、読んでなくても、こんな本を将来的に読みたいとか、書いてもらおう。そしたらポケットにも入るし、お母様のハンドバックにも入るしいいんじゃないかなと思います。
議長	ありがとうございました。 8月にやっていただいたのですか。
委員	そうですね。夏休みに図書館の視聴覚室でやりました。 しおりは、社協さんの赤い羽根の説明のしおりをもらって、私もできるかと思って作ったんです。それで図書館の絵を入れてみました。
議長	そういったことで、読書の促進ができるのであればいいですね。皆さんに工夫していただいて、子どもたちにとっては、それを埋めていく。それがまだ大人になってきたときに、自分がこの本を読んだということが残っていくんでね。
事務局	今の図書館ホームページの中に読書通帳っていうことで、打ち出して手帳みたいな感じにするものがあります。
議長	リニューアルしたりランクアップしていただいて、こういったことも参考にということでよろしくお願ひしたいと思います。 続いて図書館の関連計画の改定スケジュールについて事務局からお願ひします。
事務局	簡単な流れだけ説明させていただきますと、「湖南省教育振興プラン」というのが、今現在は令和2年からの第二期ですが、来年からの第三期に向けて策定をしているところです。 教育振興プランは教育大綱と具体的な施策である教育振興計画の二本立てです。 この5年の間にこちらの体制も変わりましたし、社会的な状況や求められるものも変わっていますので、内容を吟味して、大体の叩き台が出来上がっているところです。それを今度議会で説明し市民の意見を聞くということで進めていくという流れになっています。 具体的な内容まだ策定中ですので、参考として今のプランについて図書館関連部分のみ資料でつけさせていただきましたので、各自ご覧ください。 続きまして資料5の、「湖南省読書の魅力種まきプラン（湖南省子ども読書活動推進計画）」ですが、これにつきましては国の方で、子ども読書活動の推進についての法律を作り、読書活動の計画を作り、ま

	た県に向けて、そういうのを作りなさい、また、県が作った市町村はそれぞれ市町村で作りなさいということで、湖南省におきまして平成20年から作っております。 改正を重ねまして現在は第3次まで来ておりまして、これが令和2年から5年ということで、今年度までということになるのですが、ただいまの教育振興プランを今作っている途中ですので、それが確定しましてから反映させる形で取り組みたいというふうに思っておりますので、1年後ろにずれ込むかなというふうに思っております。また皆様にご意見を求めることもあるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
議長	これ、今日を通していただいても、とてもじゃないけど時間が足りないお話なのと、ここにも書いてありますようにやっぱ令和7年から11年までの5年計画、本当にこれが決まればそこに向かって走り出すということが非常に重要な案件なのでこれも軽く、流しましょうというものではないと思います。 またいただいている資料がこれ、今のものなので、この中身を今策定していただいていますけど、それに対して僕らが意見を言えるものではなくて、それはそちらで作るんですね。
事務局	これにつきまして教育関係の部署から集まった委員が進めるという形になっております。パブリックコメントは1月にさせていただき、そこで皆様のご意見を反映させていただきたいと思っております。
議長	パブコメの方で、意見言いたい人は言ってくださいねということですね。 そういうこともこうやって事前に勉強していただいたらまた言いやすいのかなというふうに思いますし、僕もちょっと読ませていただいて、これを今議論し始めたら時間も足りないし、質問項目も幾つもあるので、もし事前にわかっているのであれば図書館の方に出向いて、いろいろ質問して、パブコメのときに、ちゃんのご意見として言っていただいたら、理想系が近づくのかなというふうに思ってます。そういう意味では今日ここに参加いただいた方は、ぜひパブコメで、ご意見を出していただければと思います。
事務局	教育振興プランにつきましては図書館や生涯学習だけではなくて学校教育も含めて、全体的なことになります。
事務局	湖南省の総合計画の下にある、教育に関するいわゆる総合計画になりますので、その中に図書館があるというところで今回はつけさせていただきます。今後、5年間の市内の学校の動向、児童生徒数の

	動向とか、あと施設の関連とか、いろいろとございます。 そういったプランになっておりますので、非常に大きな計画で大事な計画になっております。
委員	ということは 1 月にパブリックコメントを出す前に、第二期の報告と、第三期の計画が見られるということですか。
事務局	第二期目は今年度までで、今抜粋してご覧いただいているものです。数字など古く見えるのは 5 年前のものだからで、三期のなかに今の実情が反映されるそうです。 令和 6 年までの計画がこれです。
事務局	今日は図書館関連の計画がこういうスケジュールで進んでいますよというお知らせをさせていただいてるだけであって、第二期のイメージがこういうものですよと出しているだけなんです。
議長	これをいろいろ改定して、第三期をやっていくということですね。
事務局	例えば今この 7 ページ、47 ページに数値目標がありますが、令和 6 年度が最終目標になっています。 次は今度令和 11 年度の目標を立てるということです。
委員	目標値ではなく本当の数値は、私たちが見られるように上がってきますか。
事務局	上がります。 三期に載せる実績値は令和 6 年ですね。
事務局	その実績に対して今度の第三期はどういう目標を立てていくかということです。
事務局	文面や数値の改正をしていきます。
委員	それはいつ見られるんですか。
事務局	パブリックコメントで、全体を見ていただけるのは年明けの予定です。
事務局	大体パブリックコメントの期間は 1 ヶ月ぐらいあるのですが、ホームページでもう一度、見ていただけますし、各施設にも設置します。 今 1 ページ目にありますこのスケジュール案で進めさせていただくということです。
議長	ぜひ前向きにいろいろ考えていただけるチャンスですのでこれも逃さないようにということでお願いしたいです。 これで報告等については終わりました。

3. その他

- ・意見交換
- ・連絡事項

議長	その他、意見交換というところに入るのですけども、せっかく皆さんお越しにいただいているので、3分前後で、何かご意見とか、次回への宿題でも結構ですでお話してください。
委員	ちょっと遅れてきまして、最初の方のところは聞けてないですけども、私の意識の中でもこのリニューアルのところ辺で終わっている状態だったので、それ以上にいろんな話が出てきて、今聞いているだけで全然処理とかができてない状態です。 魅力あるというか、ちょっと足を向けてみたいとか、行ったら何かほっとするとか、図書館はそういう場所であってほしいというのはいつも思っています。一方で前回しゃべって次に来たら一步でも話が進んでいるという、この感じは嬉しいなと思ってこの会議に毎回参加させてもらっています。 そういうところに立ち会えて、少しでも意見が言えて私は教育の立場にいますので、子どもたちが来たくくなるような場所であるとか、子どもたちが参加できるようなことであるとかができるとうごくいいなと思いつながら、話を聞いていました。
委員	湖南省 20 周年の記念イベントを拝見して、当日私は寄せていただくことはできなかったんですけど、やっぱりこんなに賑わうんだと嬉しくなりました。 何もない日に、長浜の図書館に行ったときがこんな感じでとっても賑わっていたんですね。図書館の横で、土曜日だったからかもしれないけれど、木のおもちゃで遊ぼうプラスワークショップで、小さい積み木をつくれるコーナーもあって、賑やかで、作ったら、図書館の方に行って本を読みだすとか、そんな行き来がありました。2階3階では大人の皆さんのいろんなサークルも、例えば、太極拳教室とか普段からサークルを図書館の上で、お部屋を借りて、教えてらっしゃる時間があるみたいで、そういうので行き来される方がいらっしゃって、上下、前後もいろんな人が入りまじりながら、普段から賑わっているのを目の当たりにしたので、こういうイベントをやればこの甲西図書館でもこんなふうに人が集まってくるんだなって、この1枚の資料でとても感じる事ができたのがとても嬉しかったです。思えば昔は平和堂3階に図書館を持っていてこうみたいな話があった時代もあったので、少し進化しているのかなという気がします。 図書館機能はとても大事だと思うんですけど、やはり人が来ないこ

	とにはだんだんと退化していくような気もするので、何とか中学、高校生、今下の帯コンクールを見ても、できたら本当は近代文学もしっかり読んで大きくなってもらいたいなって本当は思うんですけど、みんな違う本を読みながら大きくなる子も多いっていうのも寛容な気持ちで見えていかないといけないのかなという気がするところから、電子書籍も見逃すことはできないような時代に今きているのかなっていうのも感想です。
委員	私は主任児童委員の立場でどうしても新しくリニューアルする子どものお部屋ふれあいルームを、早く綺麗にさせていただきたいし、壁も楽しみにしているんです。 子育てサロンに来るお母さん方に、そういう居場所がないですかってよく聞かれるんですね。 今、児童館いつも開いていますよってそれしか言えなくって、図書館行けますよって早く言いたいなと思っていたので、言えるっていうことですごく楽しみにしています。 私も 20 周年イベントには行かなかったんですけども、この光景がこちらの部屋で見られるのかなと思って楽しみにしています。 あと先ほど声が漏れるのが気になってと職員さんが仰ってたんですけども、それだったら時間を決めてとか、この時間からこの時間はキッズの入れる、この部屋の開放の時間ですので少しうるさくなりますとか。そういうときはBGMをつけるとか、何時から何時というふうに区切るっていう手もあるかなっていうふうに思います。楽しみにしていますので、是非とも進めていってほしいです。以上です。
委員	今日初めてこの会議に出させていただいて、具体的にはどんな話をされるのかなというところから、全くわからずに寄せていただいたんですが、難しい専門的な部分がかなりありますので、ついていけない部分もあったので資料は事前配布よろしくお願ひしたいと思います。 私は、まちづくりセンターの方にいるんですけども、センターも庁舎の問題ですとか、図書館も含めて、皆絡み合った中でどう湖南市を良くしていくかというもう少し大きな目で物を考えないといけないなというような認識をしたところです。 また今後勉強いたしますのでよろしくお願いします。
委員	松浦市長が当選される前に、Y o u T u b e を見ましたら一番最初にしたいことは図書館のことですって仰ってらした。かつ、図書館だけじゃなくて森北公園も利用して。それが実現すると固く信じております。

	それともう1つ皆さんにお話をさせてもらえたらと思っていたのが、ボランティアで図書館の友の会みたいなのを立ち上げるといいなと思っています。 先ほどの、ちっちゃなかぜなんかのときに1人2人大人が、ちょっとしたお手伝いさせてもらえるような、図書館友の会またサポート隊というのか、そういうのが有志でできるといいよねという話をしておりますので、まだまだ企画の前の段階なんですけど、ちょうど甲賀市さんが同じような形で、友の会を立ち上げつつあるんですね。 ボランティアですので、強制ではないし、仕事ではありませんので、ちょっとやってみようという方がいてくださったらまたお声掛けをいただけたらと思います。
議長	今それやろうとしているんですよ。 甲賀市さんも、図書館協議会は誰かが関わっておられるんですか。 それなら正式に申し入れて、同じようにやれるところがあったり参考意見を聞かしていただいたりというのはぜひやっていただきたいです。 サポート隊との住み分けも必要かなというふうに思いますね。
委員	本当にどのような形がとれるのか。気持ちだけは、させてもらいたいなと思っておりますので、週に1回とかじゃなくって、何かの機会の時にそこはやっていくわっていう方がいてくださったら、そういうのを立ち上げたいと思っております。
委員	私もその友の会、すごく興味がありまして、やっぱりボランティアが足を運ぶってことで賑わいが生まれますし、図書館っていうのは市民とともに育つところというのがいいのかと思います。 話は変わりまして、このリニューアルですけれども、この子どもさんの部屋ですが、予算がないっていうのはすごくよくわかるんですけれども、壁紙だけが変わっても、みたいな気がします。何か少し寂しいんです。もう少しレイアウトの仕方とか、コーディネートの方がいいのではないかと。 例えばそこに、そういう意味に長けてらっしゃる方がボランティアさんにいてくださったら、いろんなアイデア出してくださるので、広がると思うんです。例えばそこに大工さんの腕のある方が入ってくださったら、こんなみんなのできるやんかみたいな話になると、材料費だけで済む話になってきますし、そういう意味でも友の会っていうのは、いいのではないかなというふうに思っています。 本当に少しこれは寂しいので、何か皆さんいいアイデアをとりたい

	す。 先ほど会長がこれから皆さんで話し合っていきましょうって仰ってくださいました。いつになるんでしょうか。この場合は、あと1回ですよ。
事務局	そうですね年間4回の予定ですが、ただその1回が後で申し上げようと思っていたんですけど、県内図書館協議会交流会というのが毎年1回、予定をされておりまして、1回そちらに参加をさせていただいて情報共有というところで考えてはおります。
委員	例えば新しくして東庁舎ができるところに図書館入れて欲しいっていうのだったらこの中で、1つ案を作って、それ何か言わないといけませんね。
議長	それをするかしないかも皆さんで議論して、最終なければ賛否でしかないですけど、せっかくこうやって集まったのでね、また議論をしていきたいなと思っているのでその方のマップなんかを、臨時でやるのもいい別にですよ。 今1時間半で規定してやっているんですけどこれを1時間足してね、事前のやつと普通のやつ少しお時間をとらせますけど、そういった議論毎回集まるよりは少し長めで集まっていただいて、課題決めて、1時間でやることもあるんです。そういうのは
委員	それこそボランティアでっていう感じですよ。
議長	いろんな人の意見を聞いてやるほうがいいですからね。
委員	そうするとちょっと計画立てていただいて、と思います。 7年度中にということはかなり急いで話を積み上げていかないと。
議長	その東庁舎の中に図書館を入れるとかいう話になって、という話もやっていきましょうという話ですよ。
事務局	その基本計画を今年度中にまとめていくというスケジュールで進んでいますので、そのご意見も、今年度中にいただくというところです。
議長	僕は今日今投げたけれど、皆さん、今日聞いたばかりで何か意見出ないので1時間でも話したい。
委員	具体策の中の、湖南市7ページから「湖南市読書の魅力種まきプラン」の中にもあるんですけども、ブックスタートがやっと10月から再スタートできることになりました。手伝ってくださるボランティア講座もできて、よかったなというふうに思っています。 先ほど言われた中学生がライトノベル、読みやすいですよ。児童文学・古典なんかの文学をしっかりと読める力っていうのは、中学生に急にはつかないと思うので、やはりこういうブックスタートから本に親

	しんで、幼児期に絵本をしっかり読んだ後に想像できるような少し長文の文学、子ども用の文学があるのでそれを、先生や、家庭で読み聞かせてもらって、読んだことで想像する力がつくと中学校ぐらいになると読む力がついてくるんですけれども、結局そういう力は、小さいときからの積み重ねなので、中学校でどうこうというよりもやっぱり、湖南省では、メディアに親しんでいる時間が他の県内、全国よりも時間が長いというのが広報に出ていました。 ということは最近の子どもたちは人と関わったり本当に会える時間が少ないんだらうなと思うと、読む力も弱いんじゃないかな、読むより前に聞いて育つ力がつくと思えるようになってくると思うんですね。だから小さい間にいっぱい読んでもらって、楽しい読書体験をする時間をどうやって保障していくかっていうことを考えていかなければいけないかなと思いました。 もう1つは、石部図書館に行ったときに、隣のホールのロビーからピアノの音が聞こえてきました。グランドピアノを真ん中に持ってこられて、誰でも弾いてくださいっていうコンサートみたいなのを、月に1回始められて、そして無料でコーヒーもどうぞとか、何かいろんなことを皆さん考えてそういう施設と図書館を上手に人が集まるように考えてらっしゃる方が市民の中におられるんだなと思ってちょっとびっくりしました。 今日コンサートと思ったら、そこで毎月1回やることになったんですって言われたので、そうやって、やっぱりここもそうですし、石部の図書館がどうなっていくのかっていうのもありますけれども、そうやって人が出会う、それが図書館だけでなくて近くの施設と結びついたらいいのかなというふうに思いました。
委員	私が湖南省にきたのは48年前です。その頃はもうすごく田舎でした。それからしばらくして図書館が音楽コンサートをされている時期があったんです。私はそれをすごく楽しみにしてきてたんです。 準備などがすごく大変そうでした。 そういうのをまずは復活して行って、回数は少なくてもいいからボランティアの方、いろいろその道で励んでらっしゃる音楽家の方、おられますよね。そういう方をお頼みして、音楽コンサートをしながら、その方の好きな本は私がこの本を読んで、ちょっと感動したのよとか本のPRするとか、何かイベントを通じてPRする。 そういうことも、小さな子どもがこの本読んでみようかなとか、こんな漫画は私好きだったけどとか、何か来てくださるときに音楽とどう

	マッチングするということもいいのではないかと思います。 それを私は1年に1回させてもらったのですが、余りにも少ないんじゃないかなと。 実際的に行事するのは本当に大変でしょうけど、手伝ってくださる方がいて本人も頑張って、チラシも自分で作って図書館に持って行ってこんなんでしょうかと、アイデアを持っていく。今回はみんな図書館にやってもらいましたが。でも、パソコンでできますし、素人の手づくりの方がかえって喜ばれると思うんです。 だからそういうものでPRして、2ヶ月に1回ぐらい今度はフルートと、今度はハーモニカとか交流できるとよいと思います。 それからビブリオバトルが今回、再開されると聞きました。 ただ、参加者はほとんど大人の方なんですよね。過去1回子どもさんが発表されていましたが、子どもさん中心のビブリオバトルもいいですね。例えば絵本でいきましょう、今回はこの間、亡くなられた「ぐりとぐら」の中川先生を特集にするとか。うちの孫も小さい頃に読んだ絵本をつくった方が亡くなったみたいとか言ってすごく関心出たんですよ。 そういうビブリオバトル系を気軽に構えないでやれるようなお膳立てができれば。簡単に勧めて。お客さん少なくとも、私はいいと思うんです。 継続することが力。少しずつ広がるんじゃないかと。そういうのを期待しています。どうぞよろしくお願いします。
委員	気づいたことだけ申し上げますと、やはり図書館静かなところですがワクワクしないともう人が集まらない。 ワクワクの逆は何かと考えてました。横並びなんです。平等とか、変なあれです、私と大谷との給料が一緒やったらおかしいんですよ。1000倍、1億倍ぐらいなかったら、駄目なんです。 だから、元気でるんですアメリカは。 そういうふうには持っていけないと。守山市も今頑張ってます。市長もなかなかすごいですから。 横並びじゃなくて甲賀や栗東に負けないぐらいの気概持ってやっていただければと思います。 この3ページ目とか、7ページ、教育、最後のページこれはもう仕方ないんですが、なんかもうおぎなりのものであって、もう1つ一番上に、ちょっととんがったタイトルでもつけていただければ非常に面白いんですが、これ見るだけで素晴らしくまとまっているんですね、行

	政的な内容だと見ていてしんどいなって。 なにか独自性を出さないと。 私やったら独自性がないと恥ずかしいというか、やってる意味がない、生きてる意味がないという感じがします。 あと、最後に気づいたことですが、さっき子どもの話出てきましたけど、大人も集まるようないう切り口がなかった。大人集めて何かやって欲しい。そういうことも感じますし、あと、躍動感みたいな、成果や目標がどうかってのもんであって欲しい。 静かであっても、何か動いてる、そういう図書館であって欲しいと思います。 そのためにも前から申していますが、5万人の人口のなかには、それぞれすごい才を持った人がおられます。例えば天体や虫、写真や将棋、鉄道でもいいし、そういうなんが発揮できる場所、そういうのは、予算がぐっと落ちているそうですが、ただでやってもらったらいいんですよ。 それをやることによって躍動感ある人が集まって、ここからすごい人が生まれるというような図書館であって欲しい。 その文化ホールとまた違う視野で、情報発信拠点として頑張っていたいただければと思います。
議長	ありがとうございました。 皆さん方にも一言ずついただきました。まだまだお話ししたいことをたくさん持っておられると思うんですけども、この場でできなかった話は、普段来ていただいて事務局に話していただけます。図書館協議会委員として、着任していただいているのでぜひ活用をしていただきたいと思います。 私からの要望ですけど、以前もお話させてもらったのですが、湖南省には4つの交流都市がございます。4つとも答えられる人なかなかいらっしゃらないんですけど。室戸市さんに行ったら湖南省コーナーっていうの大きく作っていただいて、うちは湖南省と交流やってますよみたいなんですけど、残念ながらここには比布と北栄のコーナーしかないなのでぜひその4町のコーナーは作っていただきたいし、何か工夫で他の北栄町さんとかも作りたいとおっしゃっていただいているんで、そういった部分せっかく協定を結んでますし、観光協会の立場としてもぜひそういう方も訪れていただいて、交流を深めたいなという。 室戸と北栄、隣の東洋町さんとは、交流、観光交流都市になってますんで。

	北海道開拓は近江商人、その中の1人として、下田から移住してやっておられてね。本当に苦勞しておられるので、もっともったいい意味で1人でも多くの人に知っていただきたいし、一生の間に1回ぐらいは行っていただきたいなと思っています。そういったお知らせをする場所を、大きくではなくてもいいんですけど作っていただきたい。そういう交流があるとね、もし万が一地震とかそういったときに、お互いにやっぱり本当に交流できる市町になっていくのかなというふうに思ってますので、ぜひその部分は完成させていただきたいなというふうに思います。
--	--

4. 閉 会

〔副会長あいさつ〕